

2015年 21世紀の民主主義の担い手たち

兵庫県高等学校教職員組合

中央執行委員長 雨松 康之



新年あけましておめでとうございます。

今、若者たちの集会やデモが注目を集めています。彼らは、「民主主義が終わってるって人もいました。それに対して言えることは、終わってるなら始めるぞってことです!」、「秘密保護法採決に『これはやばい』と思った。テレビの前で不平不安を言っても仕方がない。声をあげようと思った」と話します。

彼らは訴えます。「秘密保護法は知る自由、学ぶ自由、表現する自由を私たちから奪おうとしているとしか思えません」。「秘密保護法は、国家を批判する言動をさけ、お互いに監視しあう社会をつくります。そんなふうになってたまるかよ!」。「戦争に巻き込まれるのは僕らの世代。政府は、僕らの意見を聞くのが先でしょ。」。

集団的自衛権行使容認が閣議決定された7月1日前後には、官邸前抗議行動に連日数万人の若者が押し寄せました。6月2日の「若者憲法集会」には1800人余、8月2日の「ファシズムつぶせ!怒りのブルドーザーデモ」に3000人余の若者たち、そして10月25日、「秘密保護法に反対する学生デモ」には2000人を超える学生が参加しました。反原発官邸前行動は、12月26日で131回となりました。毎回2000名前後の集会が持たれ、多くの若者が参加しています。全国の定例の反原発金曜行動は279カ所に達し、若者たちが集会を支えています。

今、敗戦直後、安保闘争時、そして1970年代前後と同様、いやそれを上まわる規模と質で21世紀の民主主義の担い手となる若者たちがぞくぞくと誕生してきています。彼らは、日本の民主主義、そして未来への希望です。高教組は、今年も、若者たち、青年教職員とともに日本の民主主義の新たな発展のために奮闘します。そして、教育を通して21世紀の民主主義の新たな担い手を育てていきます。

単組・支部 ごあいさつ

神戸市高 委員長 水川 景三

情勢が厳しいほどどこかに攻撃対象を設定して批判の矛先をかわし、また鬱憤をはらさせようとする。こうした手法は権力者の常套手段です。公務員攻撃の本質はまさにそこにあるのでしょうか。弱いものの大同団結ほど強くて権力側におそろしいものはないのだと思います。仲間を広げて要求実現を前に進めることに全力をあげたいと思います。今年もともにがんばりましょう。

従組 委員長 中本 典昭

従組は昨年4月より新体制のもと新たなスタートを切りましたが、これまでの良き伝統を守りながら、より一層執行部が結束し、組合員の様々な要求に対し取り組んできました。昨年の確定交渉においても、執行部が一丸となって一定の歯止めをかけることができました。今後も国及び県教委側から厳しい要求を突きつけられることが予想されますが、我々執行部が先頭に立ってはね返していく覚悟ですので、ご協力とご支援をよろしくお願ひ致します。

障教組 委員長 原田 文孝

障害児学校の児童生徒数は増え続けていますが、障害児学校にだけ「学校設置基準」がないため、教室が足りなくて困っています。未だに運動場やプールのない学校さえあります。私たちの運動の成果で、2014年4月には姫路しらさぎ特別支援学校ができました。単なる箱づくりではなく、地域とともによりよい学校づくりを目指します。

尼崎支部長 枝尾 三一

自民党が多く議席をとりました。自民党結党以来の悲願である「憲法改定」を今、強行しようとしています。「子どもたちを戦場に送らない。人殺しに加担させない。殺されない。」ことを誓って2015年を踏み出したいと思います。もう時間はありません。息が止まるまで。

東阪神支部長 竹中 郁夫

低投票率の中、小選挙区制度のマジックで勘違いし、暴走を続けます右傾化する安倍内閣。本当に望まれるのはトリクルダウンではなく、トリクルアップ(?)だよ。それでも”There is always light behind the clouds.”(雲の上はいつも青空)。前進しましょう。

西阪神支部長 先田 業哲

新年、明けましておめでとうございます。和田雄二郎(富山県)さんの川柳『身を切って骨だけになれ自公民』を一読して、腹を抱えて大笑いをしました。戦後70周年の今年、”教え子を再び戦場に送り出さない” 平和で公正な民主社会への歴史の本流をさらに大きくしたいものです。

県高支部中執 河島 俊雄

年末の総選挙で白紙委任を得たと考えている安倍政権は格差を拡げるだけのアベノミクスや「戦争できる国」づくりの途を加速させようとしています。今、学校予算の増額や、国・県行革による給与カットを止めさせることが急務です。高

教組の活動の重要性を改めて感じています。

東播支部長 松野 吉高

12月に2回の差額が出ました。特に12月25日の差額は21世紀に入って初めてというものでしょう。政府は安上がりの公務員体制を作ろうとしているし、4月からの平均2%のカットはその前ぶれでしょう。50歳を超えると給料が変わりません。休みも取れないし、よい教育はできなくなる。これが狙いか?

北播支部長 上田 健司

新年あけましておめでとうございます。北播支部は、昔ながらのゆっくりと時間が流れところです。「普段の生業を大切にして、決して無理をせず、やるべきはやる。」をモットーに頑張っています。今後ともご支援ご協力よろしくお願ひいたします。

中播支部長 西山 和広

沖縄米軍基地、原発再稼働、集団的自衛権行使容認、「生涯派遣」など、民主主義と命が脅かされる大問題が山積しています。今年はこれらを大きく方向転換できる年にしましょう。

西播支部長 竹村 典昭

2015年あけましておめでとうございます。動員でふと周りを見渡せば、白髪ぼっちやり体型である羊の群れの佇まい。今年は「羊の皮を被った狼」となり、群れて、群れて、群れまくり、「めえ~、めえ~」大きな声をあげ、「狼の皮を被った羊」どもを駆散らしていきましょう。

但馬支部長 佐々木 孝

但馬支部では、分会の存在しない学校がある状況で2014年度が始まりましたが、何とか分会が復活しました。しかし、一人分会になってしましましたので、「集団的自衛権行使容認反対」のチラシ配布では、支部書記局メンバーが応援に駆けつけ、雪の降るなか、校門前で高校生にチラシ配布を行いました。また、「八鹿高校事件40周年集会」では、予想を超える300人規模の集会を成功させることができました。互いに助け合いながら組合活動を続け、平和で明るい未来が見える社会をつくっていきましょう。

丹有支部長 大垣 泉

新年あけましておめでとうございます。2015年、今年は生活を守るたたかみが重要であることはもちろんですが、平和の大切さと、憲法の素晴らしさを生徒にも積極的に話していきたいと思います。

淡路支部長 松下 利明

12月の総選挙はアベノミクスどころかアベノクーデタとも言えるものでした。改憲に向けての足音が聞こえています。これからが正念場です。後世の人々が今の私たちを見ています。悔いのない年にしたいものです。



発行所
神戸市中央区北長狭通5-2-10
兵庫県高等学校教職員組合
TEL 神戸(341)6745~6747
E-mail
honbu@hyogo-kokyoso.com
http://www.hyogo-kokyoso.com
発行人 兵庫県高等学校教職員組合中央執行委員長
雨松 康之
編集人 梅林 真道
定価 1部 20円
半年分 120円
組合員の購読料は組合費含め徴収





新春インタビュー

東播支部、東はりま特別支援学校の譽田和加(こんだわか)さんは採用から6年目。採用と同時に高教組に加入しましたが、学校現場での経験を重ねる一方で、昨年は「ただの組合員」から「活動する組合員」へと一皮むけた年になりました。新たな年に向けての思いを聞いてみました。

——今年度に入って急に組合活動への参加が増えたみたいですね。

はい、分会の執行委員に出たのをきっかけに、夏には広島の原水爆禁止世界大会、秋には奈良での青年部近畿ブロック学習交流集会に参加しました。また年明けには県教研のレポーター、そして大阪で行われる「職場活動活性化、組織拡大・強化をめざすブロック集会」にも参加させていただく予定です。

——そもそも、組合加入のきっかけは何だったんですか？



初任校が、加入率も高く活動も活発で、初任者全員に親身になってきちんと声を掛けてくれる職場でした。もともと特別支

援学校の訪問学級で講師をしていた時に、組合活動の成果によって就学猶予から学校へ行く権利を取り戻した方達が、年配の方も含めて生き生きと学校で過ごされている姿を見て、(大切なことに取り組んでいるんだなあ)と思っていました。だから、採用になってすぐ3人の先生方に囲まれながら加入を勧められた時には、すぐにOKの返事をしました。

——加入してみて組合の印象は変わりましたか？

組合活動には、大きく分けて子ども・生徒の為の活動と自分たちの賃金や権利を守る活動があると思います。どちらも大事だとは思うのですが、私は前者に惹かれて加入したので、そういう活動がもっと目に見えたらなあと思います。会議で集まつても、もっと生徒の様子について語り合いたいような気がします。

——最近参加率が上がっているのには理由がありますか？

参加すればするほど、まだまだ自分の知らないこと、知らなければならぬことがたくさんあって、驚いています。

特に、広島の原水爆禁止世界大会に世界中から集まる平和への取り組みや熱い思いに触れた経験は大きかったです。もっと知らなきやいけない、そして伝えなきやいけないと強く思いました。

——最近職場で組合の仲間が増えたそうですね。

はい。以前から興味は持たれていたそうなんですが、ちょうど組合に相談事があったタイミングで声を掛けたら、とても自然に入っていました。組合は大切な活動だと思っているので、やはり仲間が増えるとともに嬉しいです。

——若い方達がなかなか組合に加入しない原因はどこにあると思いますか。

まずは声を掛けてあげないと、「組合」というものがそもそも何をする集団なのかがわからないと思う



ます。知れば知るほど、これまでに積み重ねられてきた成果がいっぱいあるのに、伝わっていないと思います。そして、それを伝える時は個々に伝えるべきです。「あなたに入って欲しい」ということも一緒にしっかりと伝えるべきじゃないかな、と思います。組合費が高いという声もありますが、どんなふうに有効に使われているかがわかるれば納得できます。

——最後に2015年の決意を聞かせてください。

もっといろんな場に積極的に顔を出して、いろんなことを吸収したいです。そして、一人でも多くの人に組合の大切さや存在意義を伝えていきたいです。

——どうもありがとうございました。

100名参加でパレード（高教組9名）

「クリスマス闘争市民集会」が12月24日18時から寒空のもとで行われ、メリケンパークでの集会後、「核兵器の持ち込みを許すな！」とシュプレヒコールを高らかにあげながら、元町駅近辺までパレードを行いました。

現在、米軍基地を抱える沖縄では米兵による犯罪が日常的に繰り返し起きています。それをなかなか「我がごと」とは捉えられずにいる私たち。しかし、戦後間もない頃、この神戸の地でも同じような事態が広がっていたのです。1961年のクリスマス・イヴに

「静かなクリスマスを！」のスローガンで、神戸港の労働者と市民の共同によって「米軍基地撤去」を求める集会とデモが始まりました。それが後に1974年の米軍基地全面返還、翌75年の非核「神戸方式」誕生へと結実していくきます。

2015年は終戦70周年、被爆70周年であると同時に、非核「神戸方式」40周年もあります。基地撤去の「オール沖縄」とも心を一つにして、核のない世界に向けての大きな一步となる一年にしたいものです。



県教研に行こう！

みんなの参加をお待ちしています！

2014年度 兵庫県教育研究集会

すべての子どもに学ぶ喜びと明日への希望をはぐくむ教育を
—子ども・保護者参加の地域にねざした学校づくりを—



◇日時 2015年1月24日(土)・25日(日)

◇会場 神戸市勤労会館、神戸市立科学技術高校

全体会 1月24日(土) 13:00~16:00 神戸市勤労会館

文化行事 神戸常盤女子高等学校バトンツーリング

記念講演 「100人の村の子どもたち 今と未来のために」

池田香代子さん(翻訳家)

分科会 1月25日(日) 神戸市立科学技術高校

【教科別分科会】

9:30~12:15

①国語教育
②外国語教育
③社会科教育
④算数・数学教育
⑤理科教育
⑥図工・美術・書道教育
⑦音楽教育
⑧技術・家庭科・職業教育
⑨保健・体育教育
⑩生活科・総合学習

【問題別分科会】

13:15~16:00

⑪生活指導・自治活動
⑫不登校・登校拒否・いじめ問題
⑬子どもの心とからだ
⑭平和と国際連帯の教育
⑮人権・民主主義教育
⑯教育課程
⑰発達と学力
⑱学校・地域の教育づくり
⑲男女平等と性の教育
⑳定通教育

【障害児教育分科会】

【全体会】 9:30~12:15

【分科会】 13:15~16:00

①介助員の仕事
②障害の重い子ども
③小学校の実践
④中学校の実践
⑤高等部の実践と卒業後のくらし
⑥視覚・聴覚・生活での実践

【特別分科会】 13:15~16:00

- ①採用試験にも役立つ 青年・臨時教職員のためのスキルアップ講座
- ②高校における特別支援教育

主催 兵庫県教育研究集会実行委員会

兵庫教職員組合 兵庫県高等学校教職員組合 兵庫県私立学校教職員組合連合 兵庫県民主教育研究所

兵庫教職員組合障害児教育部 兵庫県障害児学校教職員組合 独立教職員組合附属特別支援学校支部

クリスマス闘争市民集会